

## 第6回北谷町地域公共交通会議(H29.12.27) 議事要旨

### 【会議の概要及びその後の経過(朱書き)】

- 北谷町コミュニティバス利用状況等の検証・分析結果について
  - ・ホテルへの周知方法について  
⇒日本語、英語、中国語(簡体字及び繁体字)、韓国語の4ヶ国語対応のパンフレットをホテルに配布している。
  - ・高校への通学時間帯について  
⇒今年度の実証実験においては、ケアしていない。
  - ・通院時間帯について  
⇒北谷病院や北上中央病院へ行く場合は、少し距離があるのですねという意見があった。町役場の前のとうま整形外科やこばし内科への通院には是非使いたいとの意見があった。
  - ・遅延の有無について  
⇒遅延についてのクレームはほとんどきていない。企画財政課で受理したものが3件ほど。(20分ほど遅れたことがあるとの委員の意見がありました。)
  - ・バス停で少し待つことは出来ないのか。  
⇒路線バスと同様に運行している。**※バス停付近では徐行するよう対応。**
  - ・バス停の時刻表が小さく見づらい。  
⇒導入当初は、色々な情報を詰め込んだが、ある程度浸透したと考えるので、次年度は路線バスのように時刻表を強調するように改善したい。
  - ・老人福祉センターへのアクセス時間帯(14時のアクセス)の改善について  
⇒ダイヤについては、まだ調整中なので引き続き検討する。**※今回ダイヤを再提案**
  - ・観光客の利便性向上について  
⇒西海岸を中心に移動する便についても検討をしている。
  - ・車内での次の停留所の案内をして欲しい。**※乗務員に次のバス停を口頭で案内するよう申し入れている。**
- H30 ルートの運行計画(案)について
  - ・役場横道路の通行止めの期間及びその後はルートを元に戻すのか。  
⇒早くて4月中旬頃から最低10ヵ月ほど通行止めになると聞いている。工事完了後は元に戻す予定。ただ、戻しても北谷高校前を通るルートに変更したい。

・地域住民の生の声を聞きながら検討していくのが一番良いと思う。

・乗継ポイントはどこになるのか。

⇒観光情報センターが乗継ポイントになる。起終点ではダイヤが乱れにくいことから設定。

・高齢者の方々にとって安全に乗継出来るよう配慮いただきたい。

・運行間隔が伸びているので利用者が減ると思われる。1時間くらいに短縮できないか。

⇒運行時間の短縮のためには、乗継ぎが肝になる。乗継に抵抗のある声は一定数あるので今回、乗継の仕組みを取り入れて、その利用状況を確認しながらコースを検討していきたい。ただ、今回の実証実験は期間が短いので大きく変えることは出来ないとも思っている。

・ODペアは分からないのか。

⇒ODのペアはアンケートでは聞いていない。

・車内カメラで撮っておけば、どこで乗ってどこで降りたのか分かるので後の分析に活かせる。

・バス停に近づいたことを知らせる方法として安く済ませるには、スマートフォンをバスに積んでおくと、アプリでバスが今どこにいるのか分かるので、公民館の職員がチェックして利用者に知らせるといった方法もある。

・アンケートのグラフには実数を入れること。

・観光情報センターが起終点になるとのことですが、センターでお年寄りが休んだりすることはできるのか。

⇒観光情報センターには話をしている。※センターからは問題ないと回答を得ている。

・H30 ルートの運行計画（案）について

⇒了承。

● 今後のスケジュールについて

・次回の会議（3月）では、今年度の実証運行について報告する予定。今年度の残り各機関への許認可の申請や、住民に対して新ルートの周知を行う。

⇒広報誌にはダイヤを載せるのか。会議は3月だが時間の関係は大丈夫か。

⇒ダイヤ調整は事務局へ一任。※第7回の会議（今回）で再提案。

● その他

・ビーチタワー沖縄前のバス停留所が危ないとの声がある。

⇒バス停を移動させて対応する。